

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年7月27日(2006.7.27)

【公開番号】特開2004-91768(P2004-91768A)

【公開日】平成16年3月25日(2004.3.25)

【年通号数】公開・登録公報2004-012

【出願番号】特願2003-190917(P2003-190917)

【国際特許分類】

|               |              |                  |
|---------------|--------------|------------------|
| <i>C 08 G</i> | <i>18/80</i> | <i>(2006.01)</i> |
| <i>B 32 B</i> | <i>5/28</i>  | <i>(2006.01)</i> |
| <i>B 32 B</i> | <i>25/10</i> | <i>(2006.01)</i> |
| <i>C 08 G</i> | <i>18/10</i> | <i>(2006.01)</i> |
| <i>C 08 G</i> | <i>18/66</i> | <i>(2006.01)</i> |
| <i>C 08 L</i> | <i>75/04</i> | <i>(2006.01)</i> |

【F I】

|               |              |          |
|---------------|--------------|----------|
| <i>C 08 G</i> | <i>18/80</i> |          |
| <i>B 32 B</i> | <i>5/28</i>  | <i>Z</i> |
| <i>B 32 B</i> | <i>25/10</i> |          |
| <i>C 08 G</i> | <i>18/10</i> |          |
| <i>C 08 G</i> | <i>18/66</i> | <i>Z</i> |
| <i>C 08 L</i> | <i>75/04</i> |          |

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月14日(2006.6.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0058

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0058】

<任意成分>

本発明のエラストマー形成性組成物には、本発明の効果が損なわれない範囲において、通常のエラストマー形成性組成物(ポリウレタン原料)に含有されている任意成分が含有されていてもよい。かかる任意成分としては、触媒、可塑剤、消泡剤、補強剤などを挙げることができる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0096

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0096】

<比較例4>

実施例1で調製したエラストマー形成性組成物に代えて、比較例1で調製したエラストマー形成性組成物(ウレタン系樹脂の溶液)75部を使用して難燃性のエラストマー形成性組成物を調製し、当該エラストマー形成性組成物に纖維性基布を浸漬し、オーブンによる加熱温度を180℃に変更したこと以外は実施例3と同様にして厚さ0.5mmの複合シートを製造した。

得られた複合シートは、纖維性基布を形成するフィラメントがエラストマーによって十分に被覆されず、むき出し状態であり、また、当該複合シートは柔軟性を有するものでは

なかった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0097

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0097】

<比較例5>

実施例1で調製したエラストマー形成性組成物に代えて、比較例2で調製したエラストマー形成性組成物（ウレタン系樹脂の水性エマルジョン）75部を使用して難燃性のエラストマー形成性組成物を調製し、当該エラストマー形成性組成物に纖維性基布を浸漬し、120のオーブンで10分、150のオーブンで10分の加熱に変更したこと以外は実施例3と同様にして厚さ0.5mm複合シートを製造した。

得られた複合シートは、纖維性基布を形成するフィラメントがエラストマーによって十分に被覆されず、むき出し状態であり、また、当該複合シートは柔軟性を有するものではなかった。